

## CTを使った 肺がん検診のはなし

- 10 -

肺は空気という陰性造影剤をあらかじめ大量に含む臓器なので、少し息を止めてX線撮影を行うだけで、肺泡に囲まれ枝分かれしながら走行する肺血管を鮮明に写し出すことができます。これに対し、心臓や肝臓など実質臓器の場合は、内部を走る血管とその周囲組織のX線吸収率にほとんど差がないため、そのままでは、血管を写し出すことができません。

そこで考え出されたのがヨウ素(原子番号53)など原子番号の高い元素を使った陽性造影剤です。一般に造影剤といわれていますが、

前にもお話したように、X線吸収は原子番号の3~4乗に比例するので、陽性造影剤であるヨウ素が血液の中に一定の濃度で存在すると、その部分でX線は強く吸収されます。その結果、ヨウ素を含む血液が流れる血管を細い部分まで明瞭に描出することができます。それらの血管がさまざまに変形したり偏位した状態を病気の診断に利用したのが、血管造影法です。

胃の造影検査を受けたことのあるひとは、あの白い液体の入ったコップを手渡されたとき、ずっしりと重かったのを覚えていると思いますが、胃や大腸など消化管造影検査に使われるバリウムは原子番号56の重い金属です。胃や大腸に空気(陰性造影剤)を送り込んでふくらませ、粘膜の上にバリウム(陽性造影剤)を薄く塗りつけて粘膜のわずかな凹凸を描出・診断する方法を二重造影法といいます。

(以下次号)



## Violinist 岩切陽子の音楽ひろば

~♪ たのしく心と体リフレッシュ ♪~

第4回「音楽ひろば」のようすご紹介

梅雨の晴れ間がのぞいた6月14日、第3期4回目の「音楽ひろば」が開かれました。

今回のコミュニケーションゲームは2種類。まず、瞬発力をやしなう『ハイタッチゲーム』をしました。ペアで向き合い、BGMに合わせて、鏡面に映るように同じ動きをするゲームです。先導者が任意の位置に出した手にパチッと音がするようにタッチする動きを



『ハイタッチ遊び』鏡面のように動く、とわかってはいてもなかなか体がついていきません。いちばんノッていたのは岩切先生!?

くり返します。背伸びをする、かがむ、体をひねるなど、普段はしない動きをたくさんして、皆さん軽く汗をかかれたようでした。なかなか動きが合わない時もあり、終始笑い声が聞かれました。

二つめのゲームは、リズム遊びです。ハンドベルチームとテニスボールチームに分かれ、「ほたるこい」を歌いながら体を動かします。歌いながらハンドベルでリズムをとるチーム。もう一方はそれを聴きながら別のリズムを口ずさみつつテニスボールをつく!! 子どものころに歌いながらマリつきをした記憶が蘇りました。「なぜ今はうまくつけないの!？」と言いながらも、とても楽しんでおられました。

次回はいよいよ3期最終回です。音楽セラピーに関心をお持ちのみなさん、一度「音楽ひろば」を体験してみませんか。岩切先生のヴァイオリン演奏はとても心が和みますよ。

(次回は7月12日です)

右記の日程で「第4期音楽ひろば」の受講生を募集中です。お問い合わせ・お申し込みは当研究所まで。

tel:058-296-4038 IP tel:050-5201-5567

## Violinist 岩切陽子の音楽ひろば

第4期教室の受付開始

お申し込みはお早めに!



「第4期音楽ひろば」は下記の日程で開催の予定です。

参加をご希望の方は当研究所までお申し込み下さい。

<開催日>

'05.9月~'06.1月 第2火曜日(全5回)  
・午前の部:10時半開始  
・午後の部:13時半開始

<開催予定日>

第1回	9月13日(火)
第2回	10月11日(火)
第3回	11月8日(火)
第4回	12月13日(火)
第5回	'06.1月10日(火)

<参加費>

前納制(全5回分・・・10,000円)  
・1回だけの参加・・・2,500円

注目! 「リラックス度チェック」

音楽ひろばでは、「音楽療法がどれくらい体にリラックス効果を与えるか」を実感していただくために、音楽ひろばの開始前と終了後、看護師が「血圧、脈拍、体温、血中酸素、体脂肪率」を測定します。

<テーマ>

- ・「右脳さん、さあ起きましょう!!」  
~音楽に触れることで右脳を刺激し、手や足、体の機能を活発にさせましょう!~
- ・「ヴァイオリンの演奏」  
~心と体にやさしく響く音楽鑑賞~

## 座禪洞の庭から

[野イチゴ]



庭の緑に真っ赤な実が映えますね